

2024年度

S F

小論文

3月12日(火)

グローバル共創科学部

12 : 20 ~ 13 : 40

【後期日程】

注意事項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙(3枚)、下書き用紙(3枚)を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら一マスあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・行の最後の句読点は、最後のマス目の文字と一緒に書き入れる。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章は、村上靖彦『客観性の落とし穴』からの抜粋である。これを読んで、後の問一から問三に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

*注

「ブルジョワや労働者といった」社会階級の代わりにあらわれるのは、もはや家族という安定した準拠枠ではない。個々人が、社会的な生活世界における再生産単位となっているのだ。あるいはこうも言えよう。個々人が、家族の内外で、市場に媒介された生活保障およびそれと関連する人生設計・組織化の行為者となる」(ウルリヒ・ベック『危険社会——新しい近代への道』東籾、伊藤美登里訳、法政大学出版社、一九九八、一四二頁)

*ランダム化比較試験…ある集団をランダムに分割することによって性質や条件を平均化し、治療・介入をする群と、治療・介入をせず観察のみをする群とを比較し、その治療・介入の効果を測る実験。

*メタ分析：系統的レビュー(systematic review)など、複数の研究結果を統合して治療・介入の効果を測る統計手法。

【村上靖彦『客観性の落とし穴』、ちくまプリマー新書、二〇二三年、五〇―五八頁より。

なお、出題の都合上、原文の一部を省略・改変している。】

問一 傍線部(1)について、「人生が細分化されていく」とは、どういうことか。二〇〇字以内で述べなさい。(配点二〇%)

問二 傍線部(2)に「統計は事実に近い近似値ではなく事実そのものの位置を獲得する」とあるが、文中の事例以外で、これを具体的に示す事例を挙げ、それに対するあなたの意見を四〇〇字以内で述べなさい。(配点四〇%)

問三 統計(数値化)が大きき力を持つことによって何が失われているか、また、そのことをどのように評価するか。具体例を示しながら、四〇〇字以内で論じなさい。(配点四〇%)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(後期日程試験:令和6年度)	問題番号	SF
対象学部・学科(課程)等	グローバル共創科学部・グローバル共創科学科		
出題のねらい	<p>統計やエビデンスのあり方に関する文章を読み、統計やエビデンスが社会にもたらす価値とともに、それらが持つ負の側面についても正確に理解する論理的思考力、そのことを具体的事例の中に見出し説明することのできる洞察力と社会的事象への関心、そして、文中で指摘される統計に支配されるかのような事態を把握したうえで、そのような課題を評価する考察力と、適切な文章表現力を評価する。</p>		
採点基準 (点数は100点満点の場合)	<p>問1 配点20%(40点)</p> <p>① 引用されている文章の中で「人生が細分化されていく」という表現がどのような意味で使われているか正確に理解していること。</p> <p>② 上記の理解が簡潔に表現されていること。</p> <p>③ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p> <p>問2 配点40%(80点)</p> <p>① 「統計は事実に近い近似値ではなく事実そのものの位置を獲得する」ことを示す具体的事例を適切かつ簡潔に適示していること。</p> <p>② 上記の具体的事例に関する自身の見解が、本来傾向を示すだけの統計数値が事実と同視されることについて課題文章が指摘していることを踏まえ、説得力のある論法で展開されていること。</p> <p>③ 文章全体に整合性があること。</p> <p>④ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p> <p>問3 配点40%(80点)</p> <p>① 統計によって失われるものについて、問1の「人生の細分化」や問2の具体的事例なども参考に、自身の洞察力によって導き出したものを簡潔に説明提示できていること。</p> <p>② 上記の説明提示した内容に対する自身の評価が、課題文章の中でリスクと責任について語られていることなども踏まえ、明確に示されていること。</p> <p>③ 文章全体に整合性があること。</p> <p>④ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p>		